

蕾軒獨語（其四十七）

採った千種ちぐさの優しい花も やがて知識の實を結ぶ

二

國の爲なら草木も採れよ 君は一本僕二本
つもりつもって腊葉はしの山が 末は御國を輝やかす

三

異國に誇る草木の數よ すべて知らねば國の辱
心一つに力を合はせ 調べ上げましゝ我がフロラ

四

多き草木を原料もとに使ひ 産業工業盛んに起こし
民の暮しを一層善くし 國の富をも殖しましゝ

五

草木くさき可愛の心をひろめ 愛し合ひましゝ吾等ど同志
思ひ違りさへこの世にあらば 世界かや平和で萬々歳

○蕾軒獨語（其四十七）

蕾軒 朝比奈泰彦

○小笠原島ノ粉果地衣ニ新種 On two new coniocarpous lichens from Ogasawara-jima.

昭和五年七月中井猛之進教授ノ引率セル東京帝大理學部植物學科學生小笠原島採集隊ニ參加セル藤川福次郎君

ガ多數ニ蒐集シタ地衣標本ノ中ニ一ツ見ナレヌモノガアッタ、ソレハ兄島産ノモノデしむろ *Juniperus taxifolia* Hook. et Arn. ノ裸出セル材ノ表面ニ淡黃色平滑ナル地衣體ガ固着シ處々ニ黑色ノ子器ガ散在シテ居ル、此子器ハ高サ約一「ミリメートル」ノ短頸「フラスコ」形ヲナシタ黑色ノモノデ腹部迄地衣體中ニ埋マリ頸ダケガ截頭圓錐體狀ニ突出シ頂部ニ環狀ノ白色粉霜紋ガアル、之ヲ縦斷スルト果殼壁ハ炭質デ厚ク底部或ハムシロ中央部ニ球形ヲナシタ空洞ガアリ、コレニ無色透明ノ子囊層ガ充滿シテ居ル、ソシテ圓筒形ヲナシタ子囊ノ中ニハ褐色橢圓形ノ四室胞子ヲ八箇宛容レテ居ル、此ノ部分ヨリ上部「フラスコ」ノ頸ハ眞黒ニナツテ老成シタ胞子ガ全滿シ所謂胞子塊 *Mazeedium* ヲ構成シテ居ル、此ノ如キ子器ノ構造ト「ゴニヂア」ガトレンテボーリア系ニ屬スルコトハ本植物ガ粉果地衣亞系中 *Cyphelaceae* ノ *Pyrgillus* 屬ノモノデアルコトガ明デアル、ソシテ本邦版圖内ノ最初ノ記錄デアル、Zahlbruckner 博士ニョルト本屬ノ記錄サレタルモノスベテ九種アルガ其内產地カラ見テモ又記載面カラ見テモ最モ近イモノハ *Pyrgillus hawaiiensis* A. Zahlbr. (*Annales mycologici*, vol. X. 1912, p. 364.) デアルガコレハ地衣體ガ皮層ヲ有スルノト子器ノ頂部ガ黃灰色又ハ褐灰色トアルノデ本種ノ白色環ヲ有スルノト異ル、依テ之ヲ

Pyrgillus boninensis Y. Asahina, nov. sp.

ト命名スル(歐文欄ノ圖ヲ參照スミシ)

又昭和三年ノ小笠原島採集隊ノ一人山本篤理學士(當時ハ學生)ガ齋シタ朽木面ニ着生シタ粉果地衣ハ矢張り本邦未記錄ノモノデ地衣體ハ淡黃灰綠色粉霜狀デ子器ハ大約一「ミリ」前後アリ單獨又ハ二又時ニ三又シ、果頭ハ盃狀又ハ洋獨樂狀ヲナシ、全體ニ黃色ノ粉霜ヲ被リ、之ニ「アルカリ」ヲ加フルト紫紅色ノ溶液ヲ生ズル、胞子ハ微小略球形淡黃色デ徑 $3-3.5\mu$ 許デアル、此ノ粉霜ガ「クリゾファン」酸様ノ反應ヲ呈スル特異性ヲ重ク見テ之ヲ

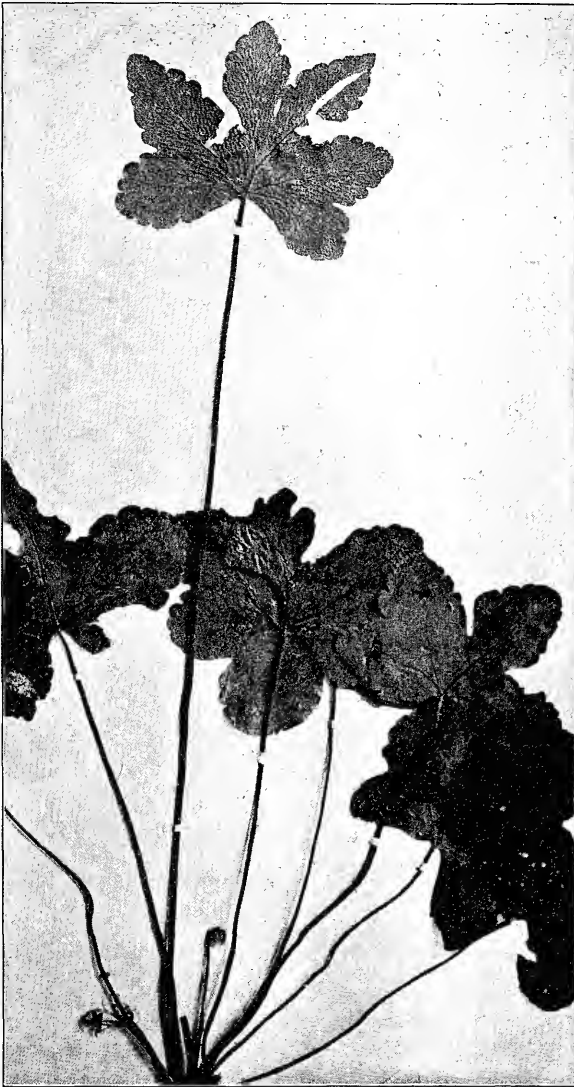
顯花植物ト見違ヘル羊齒

Coniocybe luteum Y. ASAHINA, nov. sp.

ト命名シタ、產地ハ小笠原島母島ノ乳房山デアル(歐文欄ノ圖ヲ參照スベシ)

○顯花植物ト見違ヘル羊齒

緒 方 正 資



Hemionitis palmata L.

隱花植物デ
 アリナガラ
 顯花植物ノ
 様ナ外形ヲ
 持ツモノハ
 間々アルコ
 トデ殊ニ羊
 齒ノ内ニハ
 一寸見ルト
 コレガ羊齒
 トハ思ハレ
 シモノモ少
 クナイ、彼
 ノ園藝植物
 ノ一トシテ